

## 北九州在宅医療連携拠点事業 研修会のご案内

### 「多職種での事例検討を通じて、認知症における、 医療と介護の連携の重要性について考えよう！」

北九州在宅医療連携拠点事業委員会  
委員長 中村 貴志

この度、平成24年度厚生労働省のモデル事業である北九州在宅医療連携拠点事業委員会では「多職種での事例検討を通じて、認知症における、医療と介護の連携の重要性について考えよう！」をテーマに多職種での研修会を開催いたします。

認知症を有していても住み慣れた地域で安心して暮らすには、医療と介護の連携が重要であると考えられます。しかし、現状では、医療と介護において共通認識がない、共通言語がない等の、連携の課題、連携の困難さがうかがえます。

そこで、本委員会では、認知症のある方やご家族の地域生活を支援するための認知症連携パスを開発し、円滑に連携をはかるための1つのツール（道具）として、「私の（心の言葉）ノート」と社会資源マップの作成に取り組んで参りました。

この研修会では、認知症連携パス、「私の（心の言葉）ノート」及び社会資源マップの開発をはじめとする本事業の取り組みに関する報告、さらに多職種での事例検討会を通じて、医療と介護の連携の重要性について考えたいと思います。顔の見える関係を作ってみませんか！

看護師、PT、OT、ST、社会福祉士等病院関係者、ケアマネジャー、訪問看護、訪問リハビリ、薬剤師、DS、DC、ヘルパー、福祉用具事業者等在宅の専門職及び、地域包括支援センター、行政等多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

#### 記

【日時】平成25年2月3日（日）10:00～16:00（9:30～受付）

【場所】鷗ホール（かもめホール）小倉医療センター内（旧国立小倉病院）

北九州小倉南区春ヶ丘10-1

駐車場 有料（100円）

【内容】「多職種での事例検討を通じて、認知症における、医療と介護の連携の重要性について考えよう！」

1・本事業の取り組みのご報告 10:00～12:00

(1)「私の（心の言葉）ノート」「社会資源マップ」「医療の連携に関する後方支援」について

(2) 医療と介護の連携の課題・・・11月10日研修会の報告

2・多職種での事例検討会 13:00～16:00

スーパーバイザー：事務局 株式会社フジケア 白木 裕子

※グループワークにおいて、名刺交換の場を設けたいと思いますので、名刺または、それに代わるものをご持参ください。

【参加費】無料

【定員】100名（先着順）定員を超えた場合のみご連絡いたします。

当日、昼食を各自ご持参ください。

研修会・会場のお問い合わせについては、080-3220-0699 永松までお願いいたします。病院へのお問い合わせは業務に支障をきたし、ご迷惑をおかけします。絶対にしないようお願いいたします。

北九州在宅医療連携拠点事業

申し込みファックス

093-967-8571

事務局 株式会社フジケア

番号をお間違えのないようお願い致します。

在宅医療連携拠点事業 研修会申し込み用紙	
① 参加者 氏名	
現在従事している所属・職種・経験年数をご記入ください (例 訪問看護ステーションの看護師・居宅のケアマネジャー・グループホームの介護職員) ( 経験年数 )	
連絡先 事業所名	電 話 ファックス
② 参加者 氏名	
現在従事している所属・職種・経験年数をご記入ください (例 訪問看護ステーションの看護師・居宅のケアマネジャー・グループホームの介護職員) ( 経験年数 )	
連絡先 事業所名	電 話 ファックス

申し込み期限 平成25年1月30日(水曜日)